

第1回 町議会オ一

【福祉】

サブテーマは 「地域福祉をどう育てるか」

子育てについては「昔に比べて核家族化しているため、子育ての連携が取れない」との指摘や、「自然がたくさんあるのに、自然の中で遊ぶ体験が少ない」「自然を相手にする遊び場が必要」など豊かな自然環境を子育てに生かすべきだという声が多く聞かれました。

見守り・助け合いについては、「地域での個々のふれあいは昔に比べると少ない」「地元の人が隣近所を知らなすぎる」と厳しい声や、「地域で見守り・助け合いの意識を高める必要がある。地域の考え方を変えていくことが大事」との提案も。「個人情報の問題が壁を作り、情報交換が容易にできない」との指摘もありました。

地域防災では「防災訓練を今以上に踏み込んだ方法をできないか」「避難所の運営体制も訓練の中に必要では」との提案がありました。

「地域の昔話を若い人は知らない」と、昔話の復活を望む声もありました。



地域福祉をどう育てるか話し合った分科会

【商工業】

サブテーマは「10年先を見据えた 町内産業の在り方」

IT産業の企業誘致については、「IT技術者は東京を向いて仕事をするため、定住化は難しい」との意見や、「全国的にはいい風が吹いている」「知恵を絞ればニッチな分野は多い」という双方の意見がありました。

移住促進では「立地的に有利だ。生活基盤を整備すれば移住者は増える」「若者が魅力を感じずまちづくりが必要だ」として具体的提案もありました。

「子育て世代へのアピールが重要。富士見町の良さをも都会の子育て世代にPRすべきだ」との要望や、人口減に関して「富士見は悲観することはない」とする意見もありました。

まちづくりでは「JR富士見駅に北口を開設し、北側に店舗を集積しては」との提案や、「自然を満喫するために生活の不便さがほどほどにあるのがいい」という若い女性の声もありました。

「富士見町にはいい水がある」とし、水をテーマにしたアピールも必要との提言もありました。



10年後の町内産業の在り方を考えた分科会